

Minds 式 TTP ガイドラインの作成

研究分担者：宮川義隆 埼玉医科大学血液内科 教授

研究要旨

Minds 形式による TTP 診療の参照ガイドを作成するあたり、クリニカルクエスチョンは抗 CD20 モノクローナル抗体リツキシマブの使い方を選び、医学文献データベースを用いた調査により推奨度を決定し、TTP 診療の参照ガイド 2023 を作成した。

A. 研究目的

Mind 形式に基づく TTP の診療参照ガイドを作成する。

マブは国際血栓止血学会ガイドラインで推奨されているが、現時点で科学的根拠が不足しており国内では弱い推奨（適応外）とした。

B. 研究方法

医学文献データベース Pubmed を用い、抗体医薬リツキシマブに関する文献を集める。Minds 形式に基づく診療の参照ガイドを作成する。

E. 結論

Mind 形式に基づく TTP 診療の参照ガイド 2023 を作成し、日本血液学会誌「臨床血液」に採択された。

C. 研究結果

Pubmed に登録されている論文は、TTP 13,015 件、リツキシマブ 27,340 件であった。このうち過去 10 年間に発表されている TTP とリツキシマブに関する論文 335 件を抽出し、論文内容の精査とリツキシマブの推奨度を決定した。

G. 研究発表

1. 論文発表

別紙

2. 学会発表

別紙

3. 一般向け講演会

なし

D. 考察

後天性 TTP の再発・難治例には、国内においてリツキシマブの適応があり、強く推奨した。なお、急性期と寛解期の ADAMTS13 活性著減例に対するリツキシ

H. 知的財産権の出現・登録状況

1. 特許取得：なし

2. 実用新案登録：なし

3. その他：なし